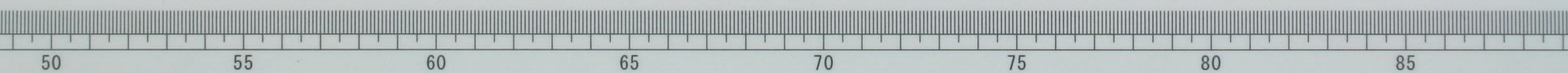
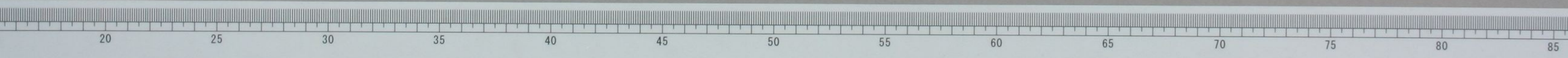




特別  
子12  
3643  
141

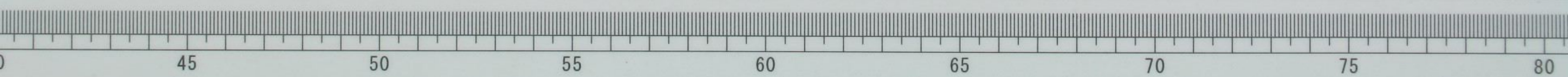


文禄二年  
林守中



文祿二年

林忠仰能



文政二年七月廿一日  
皇子御幸記付同前十月五日

45

50

55

60

65

70

75

80

天保二年七月廿日

皇子御草紙三行同年十月廿日

御控御抄

榊原御能書組

十月廿日

右大臣

大内

右大臣

右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄

右大臣

右大臣

右大臣

右大臣

右大臣

右大臣

右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄  
右大臣御抄

右大臣

右大臣

右大臣

右大臣御抄

右大臣御抄

右大臣御抄

右大臣御抄

右大臣

右大臣

右大臣

右大臣御抄

右大臣御抄

大主切切利和心年  
御宗絶利和心年  
三十三部  
大主切切利和心年  
御宗絶利和心年  
三十三部  
大主切切利和心年  
御宗絶利和心年  
三十三部

大主  
後年中助了集法公心切切利和心年  
御宗絶利和心年  
三十三部  
大主切切利和心年  
御宗絶利和心年  
三十三部

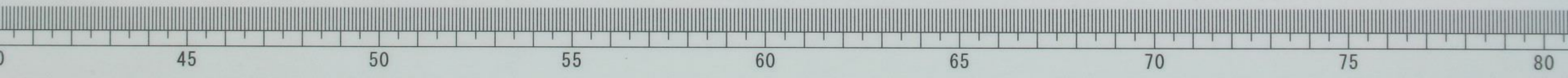
十月六日

大主  
御宗絶利和心年  
三十三部  
大主切切利和心年  
御宗絶利和心年  
三十三部

大主御宗絶利和心年  
御宗絶利和心年  
三十三部  
大主切切利和心年  
御宗絶利和心年  
三十三部

大主  
御宗絶利和心年  
三十三部  
大主切切利和心年  
御宗絶利和心年  
三十三部

山鏡  
大主御宗絶利和心年  
御宗絶利和心年  
三十三部  
大主切切利和心年  
御宗絶利和心年  
三十三部



成心

餅屑大土や草云即治中

山姥

下右宮色 大圓田新八  
二宮色有る大下條吉屋三介

古周香五介

備中なる

三條

下右宮色

小親吉五郎印  
大碓口乃見中  
方洲川若中柳

丹波乃若香五郎

安石物つ旦

越中柳

永井香五郎  
一橋  
浪毛五郎印

大七古土人  
下細川字乃柳

犯之

古周香五介

二月引

加藤記宗守

河内乃公

十月七日

備中なる

大下七

小寺七郎印

大下七乃若 大下花乃若

あま

秀吉

正 八幡町

知松

甲由市

正 八幡町

高橋

名本

犯

正 八幡町

彌子

大

秀吉

道

正 八幡町

大花

大花

大

橋本

物

下井

本

大

あま

正 八幡町

大

大

大

大

大

大

大

大

大

十月

大



大... 春... 大...

十月廿

或三書... 小幡... 大...

大吏... 春... 大...

大吏... 春... 大...

大吏... 春... 大...

大吏... 春... 大...

古夫

成心

任最中

江無... 下... 大...

大... 大...

知... 古...

古... 古...

十月九日

武三書

子... 古... 古...

古夫

古夫

古... 古... 古...

知... 古...

古... 古...

古夫

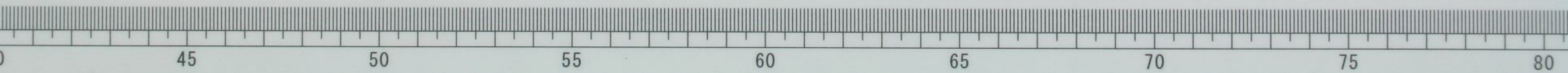
古夫

古... 古... 古...

古... 古... 古...

古夫

古... 古... 古...



田村  
甲田市下  
 小舟五ヶ所  
 宮内省御用  
 大太夫平花  
 七本龍馬

松風

御用  
素直市下  
 小舟山代信守  
 金吾市下 大太夫平花

ちよ

丹波守丸吉

小舟山代

東家  
 山代信守

大太夫平花  
 大太夫平花  
 大太夫平花

ちよ

御用

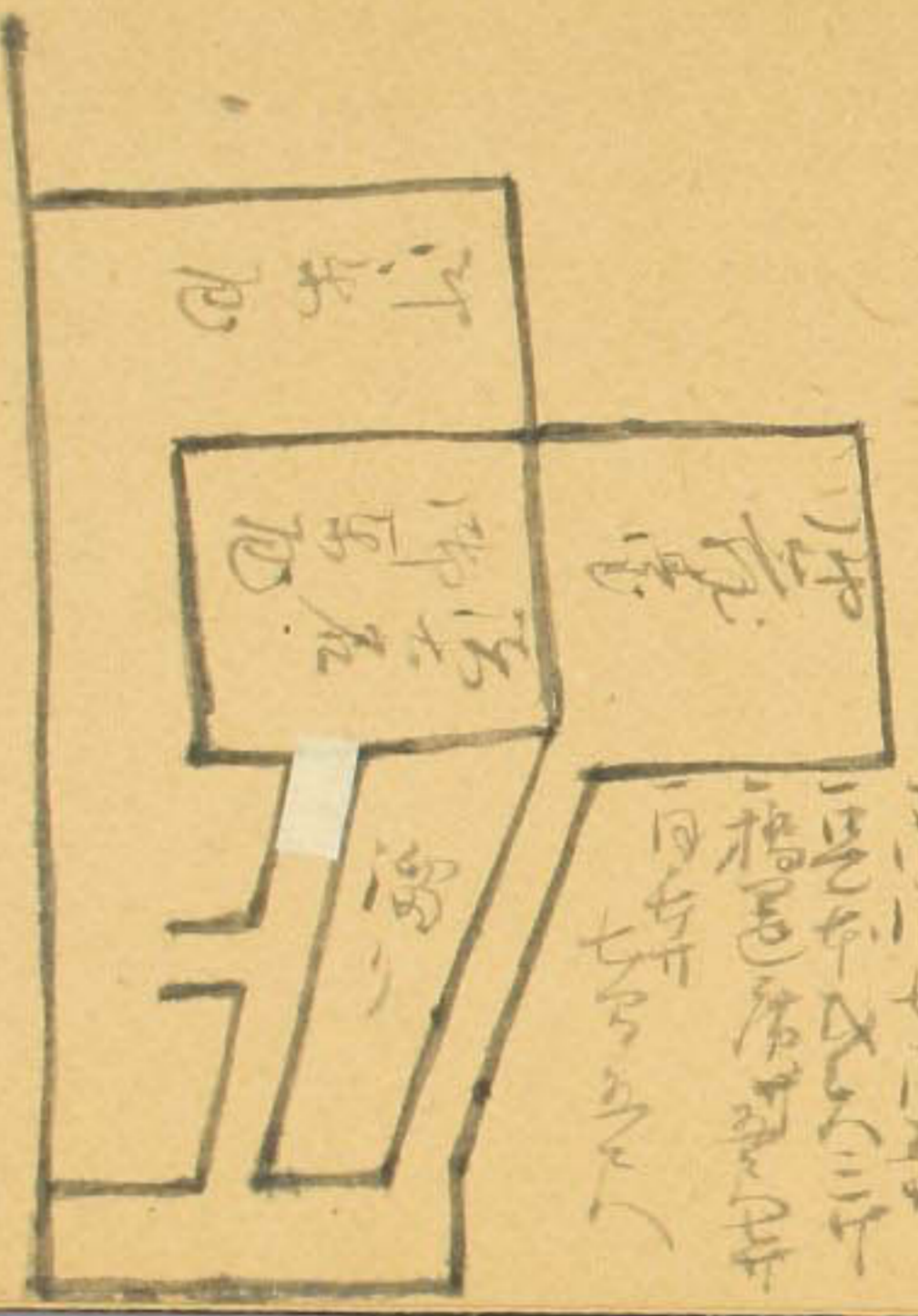
小舟山代

金礼

御用  
 甲田市下  
 小舟山代  
 大太夫平花  
 大太夫平花

紫衣殿

御



宗室殿中着

近江守宗室殿中着

丸尾守宗室殿中着

三浦守宗室殿中着

伊豆守殿

堀井殿

大守守殿

小條殿

大炊師殿

之任中殿

久保殿

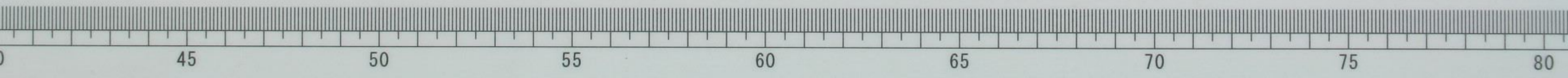
五條殿

毛利守殿

安藝守殿

御田守殿

此書は... 宗室殿中着



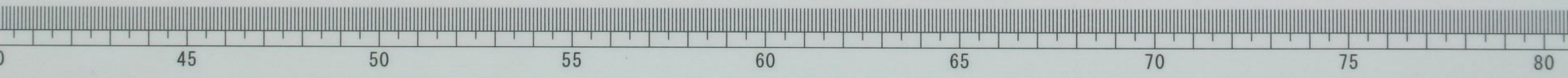
此書の流傳同傳を度分  
らば東山家所蔵にあり  
傳九年に七部あり  
授筆之

九百四十行あり

故從三位子爵諏訪忠誠氏ヨリ  
上野公園東照宮へ奉り存係  
ル書籍ヲ納附ス。嘗テ蠹蝕  
ヲ掃フ偶文録年間能東ノ  
竹録アリ板葺シテ家ニ藏ス。嗚  
呼古昔英邁ノ君主を亦此  
香乃美人ノ伎ヲ演シ胸中ノ  
塵埃ヲ掃盡ス其雅韻見ル  
ヘシ今更ニ一本ヲ寫シ以テ能  
楽堂へ寄贈ス。幸ニ諸賢ノ  
閱覽ヲ辱フシ免考ニ供セ  
ラル。アラハ本懐ノ至ニ候也

明治三十三年三月

大竹昌藏



古作 呂花氏

自前年秋來 軍中 行

之 中 亦 有 好 者

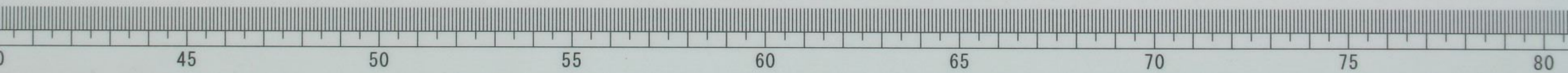
又 于 肉 痛 甚 甚 矣

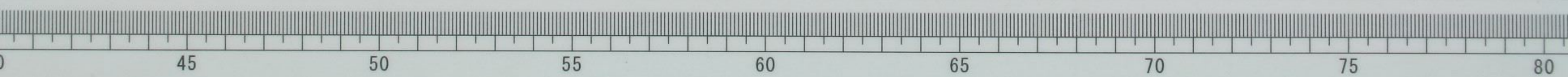
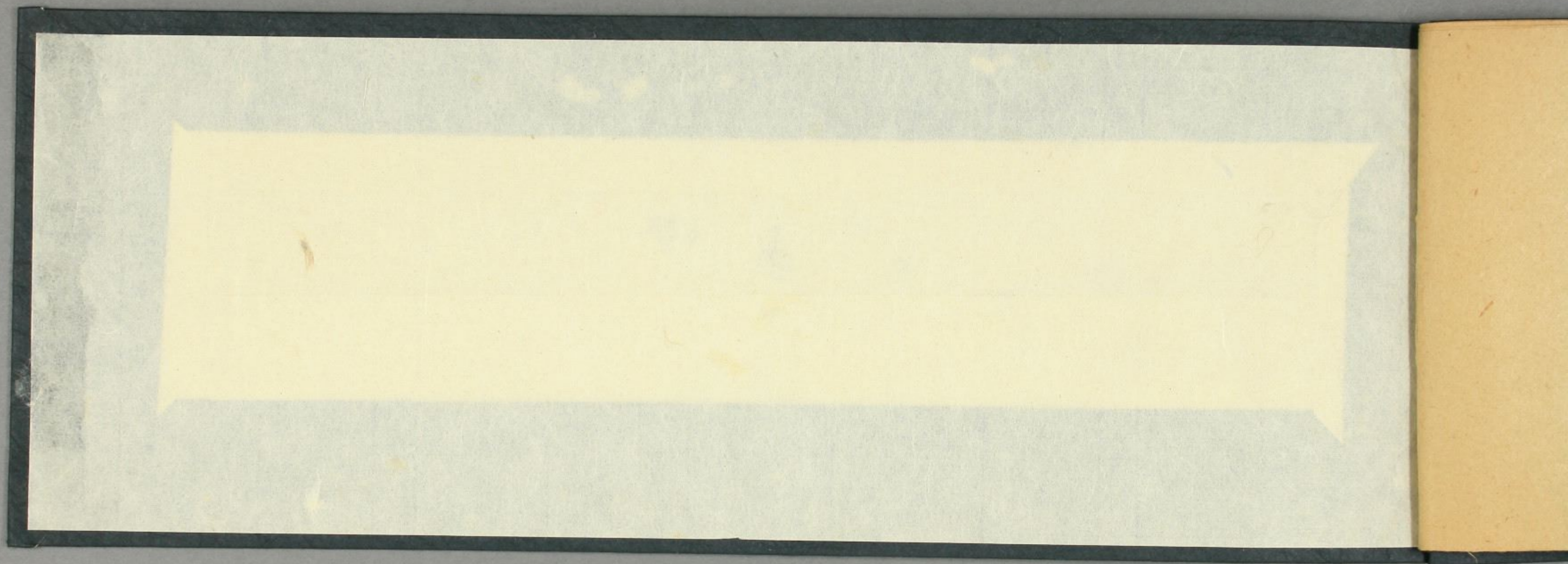
以 故 亦 有 以 此 為

梅 香 筆 于

古 白 紙 上

海 抄 字





古作 呂花氏  
自刻の書系 字 計 行  
之 中 有 好 者 也  
又 主 肉 痛 書 世 之  
以 之 子 子 子 子 子

梅 云 字 子

古 作 呂 花 氏

自 刻 之 書

